

編集顧問

生田 房弘	臺 弘
大友 英一	金澤 一郎
酒田 英夫	島津 浩
杉田 秀夫	高倉 公朋
塚田 裕三	中里 洋一
彦坂 興秀	平山 恵造
藤澤浩四郎	真柳 佳昭
萬年 甫	水野 美邦
柳澤 信夫	

編集委員

岩田 誠	(編集主幹)
石塚 典生	糸山 泰人
内山真一郎	梶 龍兒
河村 満	高坂 新一
作田 学	辻 省次
寺本 明	中込 忠好
中野 今治	水澤 英洋

編集同人

入来 篤史	岩田 淳
宇川 義一	内原 俊記
大隅 典子	岡部 繁男
神田 隆	木村 和美
久保 義弘	栗栖 薫
桑原 聡	小林 靖
斉藤 延人	砂田 芳秀
高橋 良輔	瀧山 嘉久
武田 伸一	千葉 厚郎
平田 幸一	寶金 清博
星 英司	星野 幹雄
本田 学	松野 彰

(五十音順)

あとがき

近年論文を書かない傾向がとみに顕著になっている。日本神経学会の総会を見れば、昔に比べて倍近い数の発表があり、決して書くべき研究成果がないわけではない。『臨床神経学』『脳と神経』『BRAIN & NERVE』の編集委員をこれまで4半世紀以上続けてきた経験からすると、ただ単に論文を書かないということのようで、日本語の論文ではなく英語の論文を書いている、ということでもなさそうだ。論文を書かないということにおいては私自身も人後に落ちないほうであるが、自戒の意味も含めていかに論文を書くか、を考えてみたい。

論文の書き方を系統的に習う機会が少ないことが論文を書かない第1の原因と言われることがある。しかし、私がある病院の部長をしていた頃は、私自身は何も教えなかったが、そこでは医局員の切磋琢磨があり、ごく自然に日本や米国の雑誌に論文が次々に掲載された。ある医局員は米国の雑誌に reject されたにもかかわらず、粘りに粘り、とうとうヨーロッパの雑誌に掲載されたこともある。しかしながら、最近はいったん reject されると、2度と書かない、あるいは reject されるのが嫌で書かないということもあるようだ。論文が reject されるのは、何人も人格が否定されたのでもなんでもない。その雑誌には合わないということだけだ。落とされても落とされても這い上がるというチャレンジ精神は大切である。

また、例えば論文の書き直しをお願いすると、猛烈に反駁してくる方がおられる。時にはキレてしまわれることもある。これは損である。いくら編集委員と論争しても、得る所はまったくない。通常、編集委員は投稿者よりも遙かに多くの文献を熟知しており、経験も豊富だからだ。書き直しが嫌なら、雑誌を変更するしかない。1番よい方法は、編集委員の求める書き直しに丁寧に応じることである。

論文を書く順序にもコツがある。「はじめに」あるいは「introduction」を考えているうちに思い浮かばず嫌になったという例もある。まず最初に「方法」「結果」から書き始めると、書きやすいことが多い。そして「考察」「はじめに」を書き、日本語の抄録、英文の抄録、最後に文献を書く。恩師の豊倉康夫教授はよく、「文献に間違いがない論文はすべてにおいてよい論文である。」とおっしゃっていた。至言であろう。なぜなら、どうしても最後に書く「文献」の書き方は雑になりがちだからである。

文献の数が50以上になると何に書いてあったかをすぐ思い出せないことがある。Schneiderという著者が2000年に書いた論文が『Neurology』の211ページにあるとすると、この論文は00-Sch-211と表すことができる。このように、整理する際にナンバリングすることで、文献を自由自在に使えることになる。一方ですべての論文を1, 2, 3とナンバリングすることは年号も著者名もわからず適当ではない。

得てして月並みの人は、学会で発表するとすべてが終わった気がして次の研究に目が行きがちである。しかし、論文を書いて雑誌に載って初めてその研究が一段落したと言える。これがあるいは、論文を書くうえで最も大切な点であるかもしれない。

(作田 学)

BRAIN and NERVE

(第63巻 第9号)

2011年9月1日(毎月1回1日発行)

定価2,730円〔本体2,600円+税5% (配送料実費)〕

2011年 年間購読料(税込み、配送料弊社負担)

冊子のみ35,460円、冊子+電子版46,100円、電子版/個人35,460円、

電子版/共有40,780円

販売部直通電話 (03)3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693 番

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5701 (小藤・多淵・山崎)

FAX (03)3815-7802

E-mail bn@igaku-shoin.co.jp

Web http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/bn

印刷所 (株)アイワード (011)241-9341

広告申込所 (株)ハイブリッジエージェンシー (03)3814-0089

- Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2011, Printed in Japan.
- 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- 本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- JCOPY** (株)出版者著作権管理機構委託出版物
本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。